



災害が起きる前に!

私たちと安心・安全なまちづくり

1

平常時
事前防災
対策

耐震診断・改修や、防災に関する情報発信

住まいの専門家として
耐震診断改修の住宅相談

東京土建では、「住まいの相談センター」を開設し、日頃から住まいの耐震診断・設計・改修工事相談を行っています。一級建築士も多数在籍しています。

感震ブレーカーや家具転倒防止器具の取付を行っています

NPOや行政と連携し、無料や低額で、感震ブレーカーや家具転倒防止器具の取付工事などを行っています。



まちの救助隊

3600名の救助隊員

地元の建設業者だからできる

東京土建の 防災活動

行政の「空白の3日間」を埋める

まちの救助隊
チームNAMAZU
出動!

2

災害時
救出・
救助

人命救助に役立つ道具や技術を駆使した対応

「すぐに駆けつけられる」

地元業者の強み

お近くで仕事をしている地元の業者なので、すぐ駆けつけることができます。



全都に建物に通じた
専門家が11万人います

災害時の人命救助に必要な、バールやジャッキ、ノコギリなどの道具を所有し、活用する技術を持つ「災害に役立つ組合」です。



地震発生

1 倒壊家屋の状況確認

2 各地域ごとのメンバーが
すぐに近所の皆様と救助
活動

3 自治体機能の回復まで
地域と共同して復興支援

災害時に役立つ道具や技術を持った東京土建の仲間が集結し、地域の安全・安心のために、まちの救助隊「チームNAMAZU」を組織しています。

東京土建は、地域住民、町会、自治体など手を組み、安全安心なまちづくりのために、まちの救助隊「チームNAMAZU」を結成、毎年実地訓練をしています。

まちの救助隊
ナマス全体研修



3

災害後
復旧・
復興

実績を活かした木造仮設住宅建設や復興支援

長期的復興
支援

私たちは、これまで災害に対し、各地で長期的な支援活動を行ってきました。

ぬくもりのある
木造仮設住宅の建設

最低限住める程度の「プレハブ仮設」より、「木のぬくもり」のある応急仮設木造住宅を900棟以上建設してきました。



▲青年部の復興支援
木工教室(会津若松)

行政との連携

災害時協定拡大中!

自治体との連携で
さらに広がる安全・安心

地域の建設労働組合と
災害協定を結んだ自治体

○足立区 ○荒川区 ○葛飾区
○文京区 ○墨田区 ○江戸川区
○豊島区 ○北区 ○港区
○品川区 ○大田区 ○渋谷区
○世田谷区 ○新宿区 ○中野区
○杉並区 ○江東区 ○武蔵野市
○狛江市 ○昭島市 ○立川市
○瑞穂町 ○あきる野市 ○檜原村
○羽村市 ○国分寺市 ○国立市
○府中市 ○八王子市 ○多摩市
○町田市 ○小平市 ○東村山市
○西東京市 ○武蔵村山市
○東大和市 ○青梅市

現在37自治体!!

2019年5月1日現在

俺たちの町は俺たちが守る
タウンウォッチング等の活動

東京都内の各地域、町の中の危険箇所や防災設備などの確認をしようと、地域住民のみなさんとともにウォッチング活動を行っています。



▲西東京支部では通字路のブロック塀の点検活動を実施

プレハブ仮設よりもぬくもりのある
応急木造仮設建設の支援

東京都と「応急木造仮設建設」に関する災害時協定を締結! 住宅の「耐震助成制度」の拡充も目指しています。



▲岡山県の水害で設置された応急仮設木造住宅

市民のみなさんへ

なにより 地域のみなさま一人ひとりの
防災意識が大切です!

地域住民とみんなで共助の取組みを!

普段から近隣の方々と顔見知りとなり災害発生時に助け合える
関係づくりを

阪神淡路大震災において、倒壊家屋から救出され命が助かった方の約8割は近隣住民からの救出と言われています。特に、地域建設従事者はいち早く被災者の救出に向かっています。地域の方々と結びつきが重要です。



家庭の安全は自宅の耐震対策から!

住宅の耐震性を高めましょう

特に1981年(昭和56年)以前に建てられた家屋にお住まいの方は、耐震診断を行った上で、各自治体助成制度を活用して、耐震補強工事を行いましょう。



日頃からの防災意識を高めよう!

いつどこで被災するかわかりません!

普段から家族間、ご近所間での避難場所を確認しておきましょう。
家族で共通の連絡方法を決めておくことも大切です。



特に子どもや高齢者は
周りの状況を確認する必要があります!